外国語活動学習指導案

学校名　竹原市立吉名学園
指導者　　T1　中野　　愛
　　T2　吉川　和生
　　ALT　Wilson Garrett

1　日　時　令和元年７月 11 日（木）
2　学　年　第５学年（20 名）
3　単元名　What do you have on Monday?　We Can! 1 Unit3
　　～夢を実現する時間割を紹介しよう～

4　単元について

○　本単元では，児童にとって身近な学校生活における教科を題材に，自分の夢を実現するための理想の時間割を考えて紹介し合う。

児童が学校で学んでいる教科や１日の時間数，登校の仕方等は，児童にとって当たり前のようであるが，世界の学校の様子と比べるとそうではない。同じ年代の子どもたちがそれぞれの国で学ぶ様子に目を向け興味・関心をもつとともに，なぜそうなのかという視点をもつことでその国をより深く理解することができる。

その中でも本単元では時間割を中心に学習を進める。他国の学校で学ばれる意外な教科をきっかけに,自分たちにもこんな教科があったらいいなという自由な発想をもつことができる。その際，自分の将来の夢を実現するためにふさわしい時間割をつくるという目的意識をもたせることで,ただ好きな教科を集めるのではなく,児童それぞれの思いがこもった根拠のある理想の時間割を考えることができるだろう。児童は,自分だけの時間割を伝えたいという思いをもつとともに,友だちの夢と時間割を結びつけて聞いたり,自分にはない教科を知ったりする面白さがある。「やり取り」を通して,これまで過ごしてきた友だちの新しい１面や考え方を知ることのできる活動である。

○　次の表は，５月に行った外国語活動のアンケート結果から，「話すこと（やり取り）」に関する４項目を取りあげたものである。

	質問（第5学年）　計 20 人	とても あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
①	外国語活動の授業では，英語を使う場面を考えながら活動している。	９人	10 人	１人	０
②	相手がゆっくりはっきりと話していれば，だいたいの内容が分かる。	10 人	８人	２人	０
③	英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事をしたりしている。	12 人	６人	２人	０
④	英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしている。	12 人	８人	０	０

「話すこと（やり取り)」の力をつけるには，学習した表現を定着させ,その時間・単元だけでなく,広く活用できることが大切である。

①から児童は概ね場面を考えながら活動している。Small Talk で既習表現を活用できる場面設定を工夫してきた成果が出ている。また,④にもあるように,既習の表現を新単元でも使えるように仕組み,会話の続け方を指導してきたことで児童の意識も高いと言える。ただし,まだ使える表現が限られており,表現の幅を少しずつ広げていく必要がある。

②「聞くこと」については,特にまとまった音声を聞かせるときに苦手意識をもっている児童がいる。これまで話し手に相手意識を持たせる指導,分からなかった時の切り返し方の指導が不十分だったと考えられる。

③「やり取り」の聞き手の受け止め方にも課題がある。相手が言ったことに反応せず自分の思いを先に伝えたり,言葉だけで表情や動作が伴っていなかったりする様子が見られる。聞いてもらえるという嬉しさ・安心感を得られるように，話し手を大切にする態度や英語表現に合った言い方等を指導する必要がある。

○　指導にあたっては，次の３点に留意する。

１点目は，理想の時間割を紹介する際には，聞き手の理解を助けるため作成したシートを指で示しながら紹介するようにする。さらに,相手に配慮せず言いたいことをすらすら伝えるよくない例を見せて,改善点を考えることで聞き手の理解を確かめながら話す大切さとその方法に気付かせる。さらに,分からないことに関する質問の仕方・再度聞きたい･ゆっくり話してほしい等の表現を指導し,粘り強く聞くことができるようにする。

２点目は，聞き手のリアクションの表現の仕方の幅を広げるために,本単元で使えそうな新出表現を取り入れる。また,使い慣れた既習表現でも使い方によって気持ちが伝わらない例を見せたり,手本となる児童の例からなぜ良いのかを考えさせたりすることを単元を通して繰り返し指導する。

３点目は,理想の時間割により児童の思いを反映させ,聞き手の興味をより得られるように特別な教科を考えて１つは入れるようにする。「伝えたい。質問したい。」という意欲を高めるよう指導する。

5　単元目標

【コ】聞き手に配慮しながら,将来の夢を実現する時間割を伝えたり質問したりしようとする。

【慣】将来の夢や時間割を伝えたり,大体の内容を聞いたりする。
簡単な語句を書いたり読んだりする。

【気】世界の学校生活の様子から日本の学校との違いに気付く。

6　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き

①将来の夢と時間割について，聞き手の理解を確かめながら話したり，進んで質問したりしようとしている。	①将来の夢と時間割を伝えたり，内容の大体を聞き取ったりしている。 ②自分の夢と理想の時間割の曜日・教科を書く。	①他国の学校の様子について，教科や１日の時数，休日など日本との違いに気付いている。

７　単元ゴール

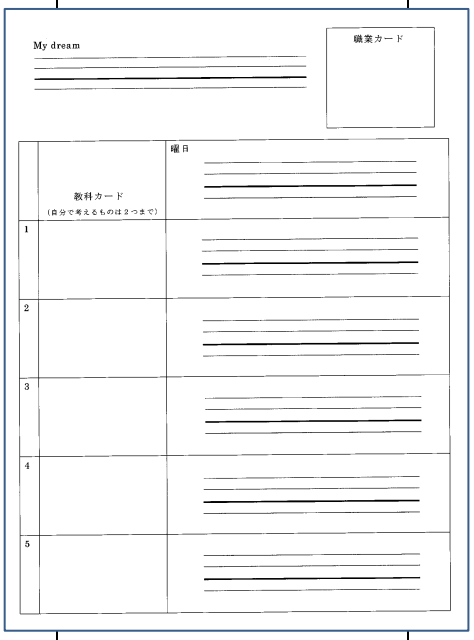
コミュニケーションの目的・場面・状況	クラスの友だちと,将来の夢やその夢を実現するための理想の時間割を伝えたり，時間割にこめられた相手の思いをより詳しく尋ねたりして，友だちの夢を応援し合う。
目指す発話例 話すこと［やり取り］ ※将来の夢と理想の時間割を話題にすることとし，必ずしも右にある表現を使うことや右のような順で会話が進むわけではない。	A: Hello. B: Hello.　What do you want to be? A: I want to be a vet.　I like animals. B: Vet?　That’s nice.　What animals do you like? A: I like cats. B: Oh, me too. A: I have my dream schedule. B: What day is your favorite? A: Wednesday. B: What do you have on Wednesday? A: I have science, English, animal science and home economics. B: Why do you have English? / Why English? A: I want to talk with foreign people. B: Oh, I see.　Sounds good!　You can do it! A: Thank you. What do you want to be? B: I want to be a baseball player. 続く

８　言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
What do you want to be? I want to be a(n) ~.　I like ~. I have my dream schedule. What day?　What do you have on (曜日)？ I have ~, ~ and~. Why (do you have) ~?　What’s ~? What do you do?　I study~. Do you like ~? You can do it! / Good luck.	職業　policeman, comedian, patisserie, cyclist, baseball player, cook, nursery teacher, soccer player, vet, nurse, programmer, hair dresser, dog trainer, 教科 moral education Japanese, math, science, social studies, English, P.E., music, arts and crafts, home economics, calligraphy

9　単元計画

時	目標（◆），主なやり取り等	評価規準・評価方法
1	◆世界の学校生活を知る。（Let’s watch and Think） ・Alphabet Jingle ○デモンストレーションを見て，“What do you have on～？”の意味に気付く。 ○映像を見て，世界の学校について分かったことを書く。 ○日本との違いや思ったことを交流する。 ○教科の表現を知る。　We Can!1 p18・19	【気①】 行動観察・振り返り
2	◆時間割を尋ねたり答えたりする。 ・Alphabet Jingle ○どの曜日の時間割かを聞く。（Let’s Listen） ○時間割について尋ね，友だちが選んだ曜日を当てる。（Let’s Play） ○世界の子供たちがどんな時間割で学んでいるか分かったことを書く。（前半）　We Can!1 p20・21	【慣①】 行動観察・振り返り
3	◆将来の夢と理由を話す。 ○small talk（What subject do you like?） ○世界の子供たちがどんな時間割で学んでいるか分かったことを書く。（後半） ○教師のデモンストレーションを見て，単元のゴールを知る。 ○職業の言い方を知る。 ○隣の人と就きたい職業とその理由を伝え合う。リアクション表現を知る。 ○自分の就きたい職業名を書く。 A: Hello.　I want to be a vet. B: Vet?　Why? A: I like animals. B: Good!　I want to be a baseball player. A: Nice!　Why? B: It’s cool! A: I like baseball.　Thank you. We Can!1 p21	【慣①】 行動観察・振り返り
4	◆自分の夢と理想の時間割の曜日・教科を書く。 ○small talk（I want to be a　～.） ○教科名を推測しながら読んだ後映像を見る。登場人物と将来の夢，夢の時間割を線で結ぶ。（Let’s Watch and Think） ○決められた曜日ごとのテーマに沿って２時間分の教科を選んでやり取りする。（What do you have on　～?）	【慣②】 時間割シート・振り返り

	○夢を実現する時間割を考え，職業・曜日・教科名をカードを見ながら書き写す。 We Can!1 p23	
5	◆将来の夢と時間割を伝え合う。 ○時間割から職業を予想し,職業名を推測して読む。 ○デモンストレーションを見て，先生の話を聞いたり，質問に答えたりする。 ○提示されたイラストをもとに発話しながら，夢と時間割の紹介の仕方を知る。 ○前時に作成した時間割シートをもとに紹介する。(隣の友だちと) 目指す発話例 A: Hello. B: Hello.　What do you want to be? A: I want to be a vet.　I like animals. B: Vet?　That's nice.　What animals do you like? A: I like cats. B: Oh, me too. A: I have my dream day. B: What day is your favorite? A: Wednesday. B: What do you have on Wednesday? A: I have science, English, animal science and home economics. B: Good!　You can do it!  	【慣①】 行動観察・振り返り
6	◆聞き手に配慮しながら,将来の夢を実現する時間割を伝えようとする。 ○small talk (dream dinner) ○一方的に話す悪い例のデモンストレーションを見て，改善策を考える。 ○聞き手を意識したやり取りを試す。 ○友だちのやり取りを見て再度試す。 ○誰の紹介カードかを推測する。 目指す発話例　第５時に同じ	【コ①】 行動観察・振り返り
7	◆自分の伝えたいことや相手に尋ねたいことを中心に伝え合う。	【慣①】 行動観察・振り返り

○ small talk (summer vacation)

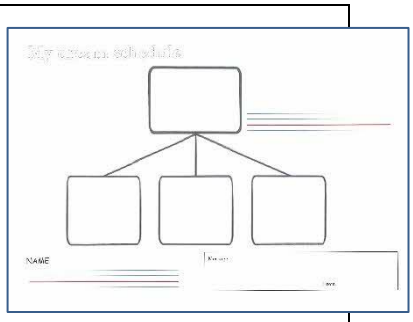
○教師のやり取りのデモンストレーションを見て，これまでとの違いに気付く。（時間割→夢の順で話している，使っていない表現がある，夢や好きなことを知っている相手には～の言い方をしている等）

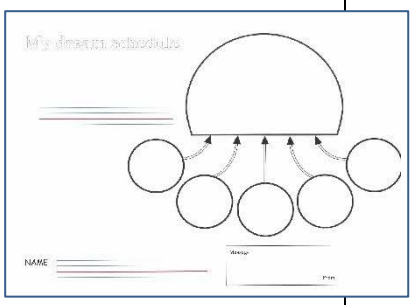
○自分が伝えたいことや尋ねたいことを中心に相手に合わせてやり取りする。

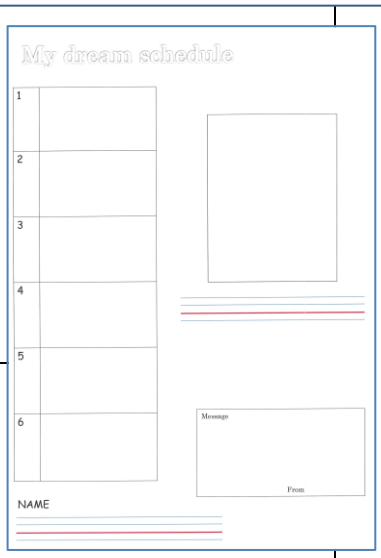
○自分だけの紹介カードを書く（3 種類から選ぶ）。

目指す発話例

A: Look！ This is my dream schedule.
I have English, animal science and home economics.
B: Okay. You like animals, right?
A: Yes.
B: Do you want to be a zookeeper?
A: No, I don't. I want to be a vet.
B: Oh, I see. What animals do you like?
A: I like cats.
B: Me, too. You can do it!
A: Thank you!







8本時

◆時間割に込められた友だちの思いをより深く知るために，進んで質問しようとする。

○small talk(summer vacation)

○先生の作成した時間割に関する話を聞いて，質問する。また，質問の仕方を知る。

○友だちの作成した時間割にかかわってより詳しく尋ねる。

○友だちから聞いたことをもとに応援メッセージを書く。

目指す発話例

A: Hello. I have my dream schedule.
B: What day?
A: Friday.
B: Okay. What do you have on Friday?
A: I have Japanese, math,…and reading.
B: Reading?
A: I read recipe.
B: I see. (You have) math. What do you do?
A: (I study) calculation. (I want to use) register.
B: Sounds good. What do you want to be?
A: I want to be a patissier.
B: Wow! Good luck!
A: Thank you.

【コ①】
行動観察・振り返り・紹介カード

１０　本時の計画（８／８時）

（1）　目標

時間割に込められた友だちの思いをより深く知るために，進んで質問しようとする。

評価規準

【コ】友だちの将来の夢と時間割についてより詳しく尋ねようとしている。

準備物

電子黒板，表現カード，紹介カード，振り返りシート

（2）　展開

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例	評価規準・評価方法
1　挨拶をする。		
2　既習事項を想起し，ペアで Small talk をする。 “What do you do in your summer vacation?” 10 分	ALT:夏休みの予定について話す。 T1:ALT の話にかかわらせて質問する。本時で使う既習表現を聞かせる。 T1：児童どうしのペアで自由にやり取りするよう促す。	
【めあての確認】	夢の時間割に込められた友だちの思いをよりくわしく知ろう。	
3　先生の夢の時間割を聞いて，質問する。 10 分 予想される質問例 ・What’s sports medicine? ・Why do you have home economics? ・You have two health classes. What do you do in health? ・Do you like Japanese?	T2：子どものころの将来の夢と時間割を伝える。ゆっくり聞かせる。 T1：T2 の話を聞いて尋ねたいことを質問するように促す。既習の表現が使えれば，英語で尋ねる。 ALT：児童が使いたい表現をサポートする。 T1：児童から出なかった表現を示す。 T2：表現カードを整理して板書する。	
4　紹介カードを使ってやり取りする。 ① ペア ② 全体で共有 ③ ペア 15 分	T1：会話の始め方も自由にさせる。友だちの話をよく聞いて，尋ねてみたいことを進んで質問するように促す。 ALT：児童の発話をサポートしたり，表現のヒントを出したりする。 T2：紹介する児童の話に関連して質問している児童を見つけて全体で紹介する。 T1:質問を受け再度チャレンジさせる。	・友だちの将来の夢と時間割についてより詳しく尋ねようとしている。 （行動観察）

目指す発話例：「将来の夢」と「それを実現する時間割」を話題にやり取り（下線は質問）

A: Hello.　I have my dream schedule.
B: What day is it?
A: It's Friday.
B: What do you have on Friday?
A: I have Japanese,…and reading.
B: Why do you have reading?
A: I read recipe.
B: I see.　(You have) math.
What do you do?
A: (I study) calculation.
(I want to use) register.
B: Sounds good.
What do you want to be?
A: I want to be a patissier.

A: Hello!　What do you want to be?
B: I want to be a patissier.
A: Patissier?　Why?
B: I like cake and cooking.
A: Good!
B: This is my dream schedule.
I have two Japanese,…and reading.
A: (You have) two Japanese.　Why?
B: 1st period, I study Kanji.
2nd period, I study communication.
A: Wow!　Do you like Kanji?
B: No, I don't, but I want to write Menu.
A: I see.

A: Look！ This is my dream schedule.
I have Japanese,…and reading.
B: Reading?
A: I read recipe.
B: Oh, I see.
What recipe (do you read)?
A: Cakes.
What (kind of) cake do you like?
B: I like a strawberry short cake.
A: Good!　I like a chocolate cake.
B: Do you want to be patissier?
A: Yes, I do.
B: You can do it!
A: Thank you.

5　最後にやり取りした友だちに応援メッセージを書く。 5分	T1：尋ねて分かったことをふまえてメッセージを書くようにする。	
6　本時を振り返る。 5分	ALT:会話の続け方についてよかった点を評価する。 T1：技能面と内容面について振り返るようにする。	（振り返りシート）

１１　板書例

めあて　夢の時間割に込められた友だちの思いをより深く知ろう。

○○先生の夢

I want to be a 写真 Athletic Trainer.

ヒントになるイラスト

ヒントになるイラスト

確認する
・You have two (music).
・You want to be a (musician). Right?

質問する
・Why (do you have)English?
・What's ~?
・What do you do in (English)?
・Do you like ~?　など

○○先生の夢の時間割
dream schedule

Sunday　写真
1 sports medicine
2 home economics
3 English　写真
4 Japanese
5 health　写真
6 health

児童が作成した紹介カード